

2010年10月5日



北海道旅客鉄道株式会社
イオン株式会社

『JR北海道とイオンで新しいサービスの提供に取り組めます』

～札幌圏・函館地区のイオン店舗における「Kitaca 電子マネー」のご利用スタートを皮切りに(本年11月)～

北海道旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:中島 尚俊、以下、「JR北海道」とイオン株式会社(代表執行役社長:岡田 元也、以下、「イオン」)は、北海道内のイオン店舗への「Kitaca 電子マネー」サービスの導入を皮切りに、地域のお客さまの利便性を高めるサービス、新しい価値を創造する協業を検討することについて合意しましたので、お知らせいたします。

JR北海道は、鉄道事業を中心に北海道に根ざす企業グループとして、旅とくらしの分野において、お客さまの満足と感動、地域の経済と文化の発展に取り組んでいます。

イオンは、総合小売事業を中心にショッピングセンターや専門店、金融サービス等を展開し、グループの持つ資産を最大限に活用することで、お客さまの多様なニーズにお応えしています。

記

『JR北海道とイオンの取り組みについて』

1. 「Kitaca 電子マネー」導入および提携クレジットカードの発行について

(1)「Kitaca 電子マネー」導入時期 : 2010年11月上旬予定

※本年10月中旬より一部の店舗において先行導入します。

※一部の箇所を除きチャージ(入金)の取扱を予定しています。

(2)「Kitaca 電子マネー」導入店舗 : 札幌圏および函館地区のジャスコやポスフル、マックスバリュなど65店舗およびショッピングセンターの専門店合わせ約850店舗に導入予定。※導入店舗の詳細は、後日お知らせします。

(3)その他 「Kitaca」と「イオンカード」の提携クレジットカードの発行について、2011年春までを目標に協議してまいります。

2. JR北海道とイオンの業務提携について

・両社はこれまで、店舗開発や環境活動での協業を行ってまいりました。2002年に開業したイオン札幌桑園ショッピングセンターが入居する桑園開発ビルについては、共同で開発計画に携わりました。

・環境活動においても、世界自然遺産の知床半島や大沼地区にて森の再生・植樹活動を通じ、北海道の環境保全活動を共同で行ってまいりました。

両社は、今後も北海道への誘客・集客における協業をはじめ、地域の生活インフラ事業として両社のお客さまに魅力あるサービスの提供を検討してまいります。